

# 平成21年度 分野チェックリスト

分野名	自律・教育分野		分野番号	5
分野担当部	教育委員会事務局	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			18年度	19年度	20年度	22年度末	年度末
1	区学力調査、意識実態調査における児童・生徒の平均正答率	%	68.5		68.6	70%	
2	ボランティアに参加したことの区民の割合	%	23.8	22.0	23.2	30.0	
3	不登校児童・生徒数	人	277	253	262	170	
4	楽しい学校生活であると肯定した児童・生徒の割合	%	81.3		84.3	86%	
5	区民1人あたりの文化的生活時間	時間	平日1時間45分 休日2時間51分	平日1時間53分 休日2時間10分	平日1時間36分 休日2時間19分	平日2時間15分 休日3時間00分	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)	
1	<p>「杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査」における平均正答率を指標値としており、平成20年度の正答率は18年度と同程度の結果となっています(平成19年度は未実施)。なお、東京都の学力調査結果で見ると、小・中学校とも東京都平均を上回り良好な結果ができています。今後は、教職員研修や指定校による課題別研究、学力向上調査委員会の活動等を充実するとともに、学校経営への支援を強化し、教員・学校の指導力向上を図っていきます。また、少人数学習の機会充実や教員加配等により、基礎的・基本的な学力の定着に取り組むことにより、平成22年度末の目標値達成を目指します。</p>
2	<p>ボランティアに参加したことの区民の割合は、前年度と比べ微増となりました。 「杉並区教育ビジョン推進計画」に基づき、平成20年度末で、学校支援本部は計画を上回る33校に設置され、また、地域運営学校(コミュニティ・スクール)の指定は9校となるなど、着実に地域との協働による学校づくりが進展しています。これらの取組みの推進により、今後、保護者や地域住民の学校運営への参画がより促進されていくと考えられます。 また、地域団体の活動を活性化するための支援と協働の取組みにより、地域住民や地域の活動組織が主体となった自主的な活動も活性化していくことが期待され、「ボランティア活動をしてみたいと思うがしたことはない」と意欲のある区民の割合が45.3%と、ボランティア活動に興味関心がある区民が多く潜在していることから、今後、ボランティア活動に参加する区民が増えいくことが期待されます。</p>
3	<p>不登校児童・生徒数については、平成19年度は減少したものの、20年度は前年度より9人の増加となりました。不登校の直接のきっかけは多岐にわたっていますが、「極度の不安や緊張、無気力など本人に関わる問題」、「親子関係をめぐる問題」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が多くを占めており、不登校人数の増加の大きな要因と考えられます。また、不登校解消率(不登校人数に対して、指導によって登校できるようになった人数の割合)は、平成18年度は30%でしたが、平成19年度においては26%と減少し、平成20年度においても26%でした。 平成20年度は、前年度、済美教育センターに設置した「教育SAT」(校長OB、心理士、社会福祉士、専門医などの専門スタッフを加えた、いじめや不登校などの緊急課題を解決する専門チーム)に不登校対策担当の心理士3名とスクールソーシャルワーカー3名を配置して対応してきましたが、今後も不登校児童・生徒数を減少させるための取組みをより一層強化していきます。</p>
4	<p>「杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査」における小学校の「学校の生活が楽しい」、中学校の「学校の生活が充実している」との問いに、肯定的な回答をした児童・生徒数の割合を指標値としており、84.3%の数値となっていますが、いじめや仲間はずれに対する何らかの不安を抱く児童・生徒が少なからずいる可能性があります。 学校教育において、いじめは重要課題であり、学校では、相談体制の充実や生徒会活動・学級活動等での指導に取り組んでいます。引き続き、教育SAT(校長OB、心理士、社会福祉士、専門医などの専門スタッフを加えた、いじめや不登校などの緊急課題を解決する専門チーム)と連携しながら、教育相談の機能強化、創意工夫のある教育指導などにより、児童・生徒の不安意識を解消し、「学校が楽しい、充実している」と感じる児童・生徒が増えるよう取り組んでいきます。</p>
5	<p>文化的生活時間は、平成18年度と比較すると平日・休日ともに減少しています。昨今の厳しい経済情勢や労働時間の長さなど、様々な要因が考えられますが、趣味や娯楽活動、スポーツ活動などを行うための時間のゆとりが減少しているとも考えられます。 一方で、区の文化・芸術活動の基盤整備は着実に進んできており、平成21年5月に「座・高円寺」がオープンし、杉並公会堂と並ぶ文化・芸術活動の重要な拠点として、専門性が高く、質の高い文化・芸術に親しめる機会が充実しました。また、杉並公会堂のホール稼働率、日フィル友好提携事業への参加者数も順調に伸びており、文化活動の発表や鑑賞事業などをとおして、優れた文化芸術に触れる機会が増えていると考えられます。 今後とも、各文化施設がそれぞれの特徴を生かし、地域・区民にとって魅力的な施設として広く活用されるよう、より一層のサービス向上に努め、区民一人ひとりの文化的生活時間の向上に資するよう取り組んでいきます。</p>

チェックリストの状況(参考)														
番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)												
	定義													
1	区学力調査、意識実態調査における児童・生徒の平均正答率	<p>[20年度] &lt;問題解決能力等平均正答率&gt; 調査対象(都内公立小学校5年生、中学校2年生)</p> <table border="0"> <tr> <td>杉並区</td> <td></td> <td>東京都</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>65.6</td> <td>小学校</td> <td>60.2</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>73.1</td> <td>中学校</td> <td>69.2</td> </tr> </table>	杉並区		東京都		小学校	65.6	小学校	60.2	中学校	73.1	中学校	69.2
	杉並区			東京都										
小学校	65.6	小学校	60.2											
中学校	73.1	中学校	69.2											
	平成20年度杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査における児童・生徒の平均正答率(小学校3年生以上の児童・生徒に実施) 【関連データ】 (都教育庁:平成20年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果 より)													
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	<p>[20年度]</p> <table border="0"> <tr> <td>杉並区</td> <td></td> <td>東京都(15年度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>23.2%</td> <td></td> <td>28.5%</td> </tr> </table>	杉並区		東京都(15年度)			23.2%		28.5%				
	杉並区			東京都(15年度)										
	23.2%		28.5%											
	区民アンケートで、「あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか」に「現在活動している」「以前活動していたが現在はしていない」と回答した人の割合 【関連データ】 (杉並区区民意向調査より) (都教育庁:東京の教育に関する都民意識調査 より)													
3	不登校児童・生徒数	<p>不登校児童・生徒(年度に30日以上欠席)の出現率 [20年度]</p> <table border="0"> <tr> <td>杉並区</td> <td></td> <td>東京都</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>0.45%</td> <td>小学校</td> <td>0.33%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>2.91%</td> <td>中学校</td> <td>3.15%</td> </tr> </table>	杉並区		東京都		小学校	0.45%	小学校	0.33%	中学校	2.91%	中学校	3.15%
	杉並区			東京都										
小学校	0.45%	小学校	0.33%											
中学校	2.91%	中学校	3.15%											
	年度に30日以上欠席(病気等の欠席を除く)した児童生徒の人数 【関連データ】 (都教育庁:平成20年度における児童・生徒の問題行動等の実態について より)													
4	楽しい学校生活であると肯定した児童・生徒の割合	<p>1校あたりのいじめ認知件数 (いじめについては定義の解釈が多様であり、また認知も主観による部分が大きいため、単純に他自治体との比較は難しい) [20年度]</p> <table border="0"> <tr> <td>杉並区</td> <td></td> <td>東京都</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>1.35件</td> <td>小学校</td> <td>1.15件</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>4.61件</td> <td>中学校</td> <td>2.80件</td> </tr> </table>	杉並区		東京都		小学校	1.35件	小学校	1.15件	中学校	4.61件	中学校	2.80件
	杉並区			東京都										
小学校	1.35件	小学校	1.15件											
中学校	4.61件	中学校	2.80件											
	平成20年度杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査において、小学校の「学校の生活が楽しい」、中学校の「学校の生活が充実している」との問いに、肯定的な回答をした児童・生徒数の割合を%で表した。 【関連データ】 (都教育庁:平成20年度における児童・生徒の問題行動等の実態について より)													
5	区民1人あたりの文化的生活時間													
	区民アンケートで、「あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか」に、「趣味・娯楽活動」「教養・学習活動」「スポーツ活動」と回答した人の1日にかかるだいたいの時間の平均値(平日・休日別)。  (杉並区区民意向調査 より)													
特記事項														